

地球温暖化対策を考えるシンポジウム in 山形・最上町

東北における 再生可能エネルギーを考える



入場
無料

申込
不要

日時

2015年 **3/14** 土 13:30~16:30 (開場 13:00)

会場

最上町中央公民館 大ホール (山形県最上郡最上町大字向町 674)

基調講演 13:40~



「東北地域における低炭素社会を目指す
これからの暮らし」

長谷川公一氏

(東北大学大学院文学研究科教授)



「地域のエネルギーシステムをつくる」

中田俊彦氏

(東北大学大学院工学研究科教授)

パネルディスカッション 14:50~

東北地方における持続可能な低炭素社会作りにおいて地域と家庭がどう取り組むべきかをテーマに、パネリストからの事例紹介と講師とともに討議を行います。【コーディネーター：長谷川公一氏】



高橋重美氏

【パネリスト】

1. 最上町のこれまでの歩みとこれからの展望

高橋重美氏 (最上町長)

2. 最上町内での取組について

菅欣也氏 (農業生産法人もがみグリーンファーム株式会社)

3. もがみの地域資源を活用したエネルギー

地産地消の取組み 伊藤正幸氏

(NPO 法人バイオマスもがみの会 事務局長)



伊藤正幸氏

主催 環境省東北地方環境事務所

共催 最上町

後援 山形県

協力 特定非営利活動法人環境ネットやまがた、やまがた自然エネルギーネットワーク

展示出展協力 ベレトマン最上、株式会社エスパワー、株式会社大場組

実施団体/お問い合わせ先

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) 〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

TEL/022-301-9145 FAX/022-219-5710 E-mail/stop_gw@miyagi.jpn.org



エネルギー問題への関心が高まる今、再生可能エネルギーとして、木を材料とした「木質バイオマスエネルギー」が注目されています。
 山形県の東北部に位置する最上地域は、8割が森林というエネルギーの宝庫。この地域では古くから、豊富な木をエネルギーとして活用し暮らしてきました。
 いま、木質バイオマスに積極的に取り組む最上地域の事例をもとに、東北におけるこれからのエネルギーについて一緒に考えてみませんか？

基調講演 講師プロフィール

「東北地域における低炭素社会を目指したこれからの暮らし」

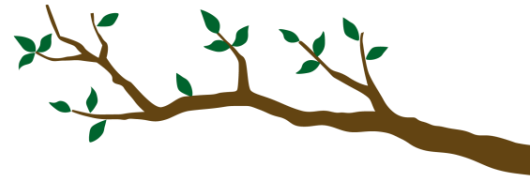
長谷川公一氏（東北大学大学院文学研究科教授）

1954年山形県生まれ。環境社会学、社会運動論、社会変動論など。『脱原子力社会へ』（岩波新書、2011年）、『脱原子力社会の選択 増補版』（新曜社、2011年）ほか。環境問題をめぐる紛争、環境政策の転換にはたす社会運動の役割などを研究。座右「石ころ一つあれば一生遊べる」（熊谷守一）。

「地域のエネルギーシステムをつくる」

中田俊彦氏（東北大学大学院工学研究科教授）

1960年神奈川県生まれ。東北大学大学院工学研究科修士課程修了。電力中央研究所主査研究員、フルブライト研究員を経て、現在は自律・分散型エネルギーシステムの設計研究を進めている。政府復興推進委員会委員、環境省2050年再生可能エネルギー等分散型エネルギー普及可能性検証検討会委員等を務める。



展示コーナー出展団体

- ・山形県最上総合支庁（パネル展示）
- ・株式会社大場組（もみ殻固形燃料「モミガライト」展示）
- ・株式会社エスパワー（ソーラーパネル展示）
- ・ペレットマン最上（薪・ペレットストーブ展示）
- ・MELON 自然エネルギー普及プロジェクト（活動紹介パネル展示）



モミガライト



木質ペレット



実施団体紹介

公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

Miyagi Environmental Life Out-reach Network の略称。

1992年に開催された地球サミットをきっかけに、「みやぎでも環境を考え地球を守りたい。」そんな思いから生まれた環境 NGO。1993年から緑や水・食などを通して環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与するために多くの市民・学者・知識人・協同組合・企業・団体が一緒になって活動しています。ほぼ毎週エコ体験講座を開催しています。

詳しくはこちら→URL: <http://www.melon.or.jp/>

